

南アフリカ為替週報

2023年11月30日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

<過去1週間の動き>

(11月23日～11月29日)

USD/ZAR: 18.4597～18.9570

ZAR/JPY: 7.85～8.00(参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は対ドルで反発。先々週の下落分を半分程度取り戻した形だ。グローバルな米金利低下・ドル安の流れが追い風となった。対ユーロ、対円では横ばいとなった。

南アフリカ準備銀行(SARB)は11月23日の金融政策決定会合で市場予想通り政策金利を8.25%で据え置いた。クガニャゴ総裁は、「現在の金利水準では政策は景気抑制的で、インフレ見通しや高止まりするインフレ期待に整合する」と指摘している。さらに、「インフレ見通しに対して、深刻な上振れリスクはなお残る。これらのリスクを踏まえ、MPCは強い警戒を維持し、リスクが現実化し始める場合には行動する用意がある」と述べている。

声明文の文言はタカ派的だったものの、以下の2点において今回の決定はハト派的な面も印象に残った。(1) 金利据え置きはMPCメンバーの5人の全会一致だった。前回9月会合では据え置きが3名、25bpの追加利上げが2名の多数決だった。全会一致の決定は2年ぶり。(2)インフレ見通しが9月会合時点の予測と比較して2023年末が前年比5.4%から5.3%に、2024年末が前年比+4.7%から同+4.6%に引き下げられている。SARBは利上げバイアスを維持しているものの、実際に利上げが再開される可能性は現時点ではほぼ消滅していると見て良いだろう。

SARBは29日にはフィナンシャル・スタビリティ・レポートを発行している。その中で、高金利によって金融機関の不良債権の増加や借り手の支払い遅延が起る可能性があるとしている。さらに、SARBは2025年1月1日から金融機関に1%のカウンターシクリカル(非景気循環的)資本バッファを導入し、2025年末までに完了することを決定したとしている。高金利の継続に伴う金融機関のバランスシートの悪化は今年3月の米国をはじめ、欧米でも懸念されている。この決定の為替市場へのインプリケーションは大きくはないだろうが、あえて言えば、政策金利を「高く、より長く」維持することへの手当てを行っている、と位置付けることもできよう。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
11/22	08:00	CPI(前年比)	10月	5.6%	5.9%	5.4%
11/23		政策金利発表		8.25%	8.25%	8.25%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(11月30日～12月6日)

USD/ZAR: 18.00～19.50

ZAR/JPY: 7.60～8.50

今後1週間のランド相場は引き続き、外部環境の動向に敏感な展開が続くだろうが、短期的には強気目線である。今後、本格的な米金利低下・ドル安局面に入るとすれば、代表的な高金利通貨である南ア・ランドへの資金流入が拡大する余地は大きいとみられる。もっとも、経常赤字と財政赤字の双子の赤字や、低迷する経済成長率など、南アの経済ファンダメンタルズには脆さがあり、外部環境が再び逆風となりつつある中、ランドには再び下落圧力がかかりやすい点には注意が必要となろう。経済指標では11月30日公表の10月貿易収支や、12月5日発表の2023年7-9月期の実質GDP成長率が発表される。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

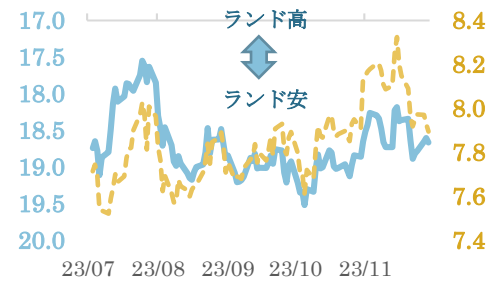
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
11/30	12:00	貿易収支(10億ランド)	10月	8.1b		13.1b
12/5	09:30	GDP(前年比)	Q3			1.6%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

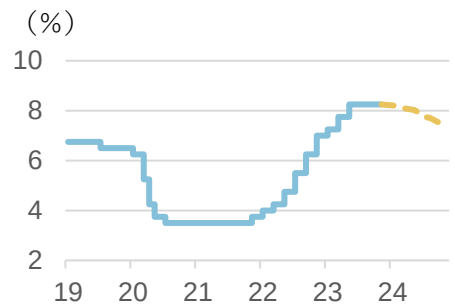
点線: 対円レート(右軸)



南ア 政策金利

実線: 実績

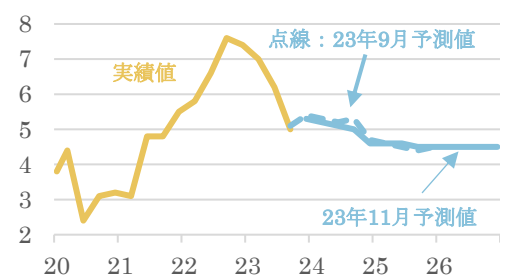
点線: 市場の織り込み



注: 市場の織り込みは3か月JIBORのフォワード契約から計算。2023年11月29日時点。

南アフリカ準備銀行 CPI予測値

(前年比%)



(資料:SARB、南アフリカ統計局、ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mizuhoemea.com

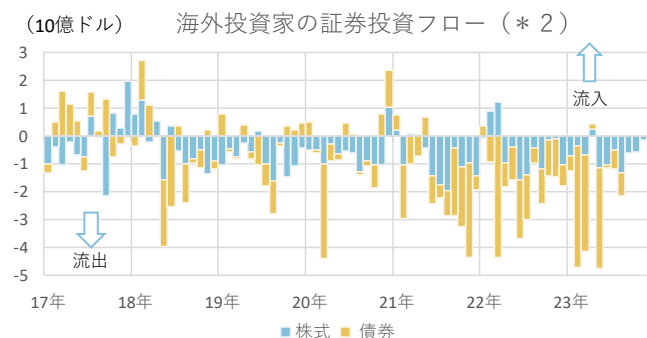
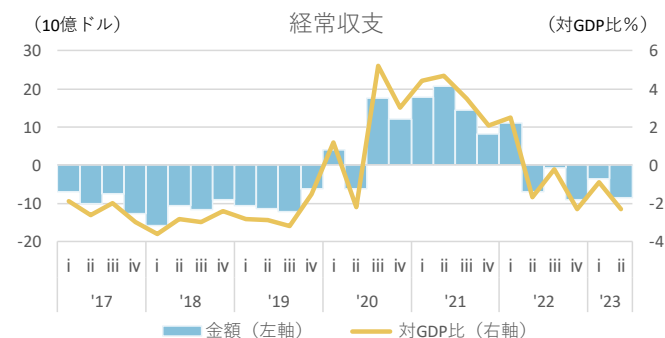
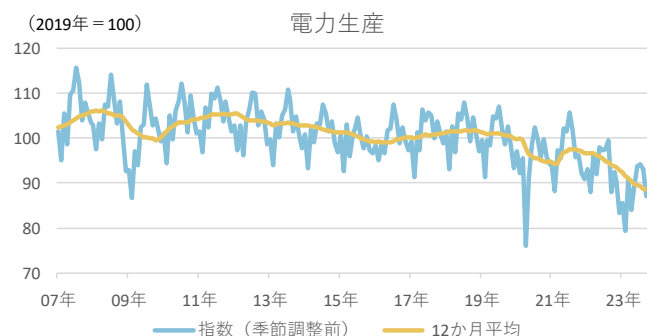
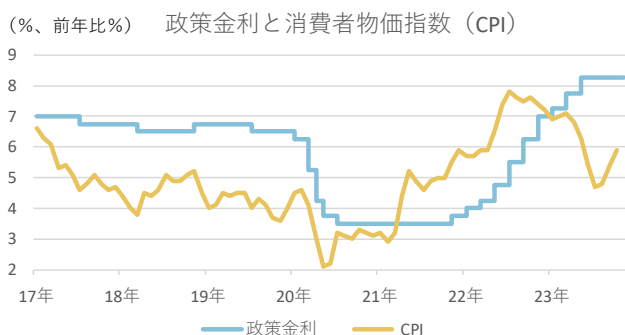
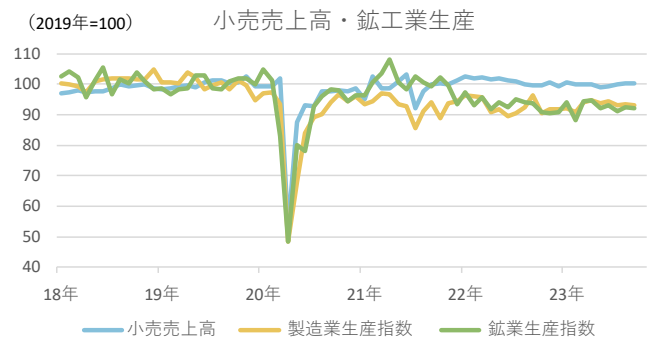
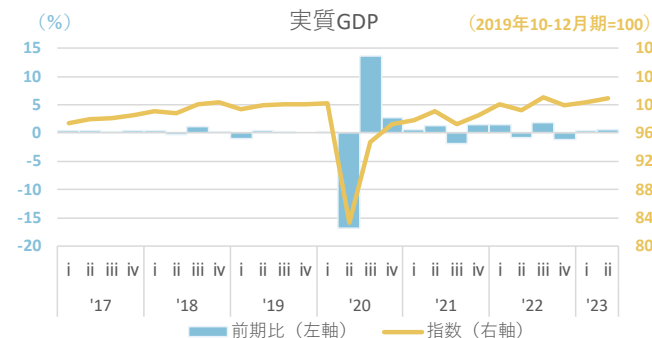
当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

南アフリカ為替週報

2023年11月30日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

<主要経済指標の推移>



* 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。

経済アナリストや企業などが調査対象となっている。

ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。

* 2 : 月次データ。ただし、2023年11月は1日から28日までの累計値。

(資料 : 南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルク証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。